



山 | 梨 | 大 | 学 |   | 新 | 技 | 術 | 情 | 報 | ク | ラ | ブ |



～ インフォメーション ～



【第 27-16 号】

本メールマガジンは山梨大学 新技術情報クラブ会員の皆様へ  
最新情報をお知らせする目的で配信しております。

メール配信を希望されない方は、「配信停止」とお書きの上、ご返信ください。

産学官連携コーディネータ 活動レポート (コラム)
------------------------------

【No.22】

いつも山梨大学新技術情報クラブを応援して下さいまして、誠にありがとうございます。いよいよ寒さも深まってきておりまして、25日の北海道では11月として62年ぶりに40cmの積雪があったそうです。山梨でも一昨年の大雪が思い出されます。

さて、今回のコラムでは最近の本学動向も含めて大学・地域の活動案内をしようと思います。

地方創生が叫ばれ始めてしばらくが立ちましたが、大学にもひたひたとその足音が近づいております。

文部科学省は、先般国が定める「三つの枠組み」を各国立大学に選択させました。

- ①「卓越した海外大学と伍（ご）した教育研究と社会実装（世界）」 16 大学
  - ②「特色分野の教育研究（特色）」 15 大学
  - ③「地域と特色分野の教育研究（地域）」 55 大学
- です。

この「三つの枠組み」は、産業競争力会議の議論を受けた文科省が原案を示し、

当初は「国立大学を形式的に3分類する差別化」と各大学が反発しまして、制度設計の議論の中で、「地域でも各大学が持つ特色分野の評価を含めること」と変化しました。

山梨大学はこのうちの③（地域）を選択しております。上記の通り「特色分野の評価」を含めるわけですので、研究力を手抜きするわけではありません。たとえば先般ノーベル賞を受賞されました大村先生の方野である微生物領域や世界的に有名な発酵工学研究者の若山先生などがおられる「生命環境学部」についてとか、燃料電池など未来エネルギー関連研究などについては、研究力強化に進むとされております。

しかしながら、その軸足は地域貢献（地方創生）に強く向けることとなりますので、その一環としての新しい取り組みについて代表的なところをお示しします。

#### 【COCからCOC+へ】

平成26年度に文部科学省の「地（知）の拠点整備事業」に採択をされて教育・研究・社会貢献の3本の柱に関して活動を開始しました。平成27年度の研究としては次のリンク先に示すような6つの研究がすすめられております。

<http://www.coc.yamanashi.ac.jp/research/project-year/project-2015>

そして本年度の平成27年度発展形ともいえるCOC+「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業」にも採択を受けまして、平成28年1月21日に談路館でキックオフを粉う予定になっております。

COC+では、県内大学等高等教育機関11と横浜市立大学、自治体、企業等が連合で実施する内容になっておりまして、その代表事務局が山梨大学となりました。

次の所にプレスリリースがございます。

<http://www.yamanashi.ac.jp/wp-content/uploads/pressrelease/2015/20150928COC-.pdf>

#### 【水素・燃料電池ネットワーク協議会の立ち上げ】

今年の6月1日にプレスでも発表いたしました通り、山梨県・やまなし産業支援機構・山梨大学と覚書を交わして、今までHyper-FC研究などで蓄積された成果やネットワークを活用して、山梨地域へ実質の産業創出をするミッションを携えての立ち上げになります。

大学内では私どもが所属する産学連携・研究支援機構の組織内に「水素・燃料電

池技術支援室」を構成し、専任の技術コーディネータを擁しております。12月9日には、FCVとエネファームに使用される部品技術について公開する「水素・燃料電池関連部品セミナー」が開催されますので、奮ってご参加ください。

#### 【山梨大学放送局の開始】

2月23日に甲府キャンパス本部棟5階第一会議室において「山梨大学エリア放送」の開局式を開催しました。現状はワンセグの電波放送局ですので、キャンパスエリア程度しか視聴できませんが、ゆくゆくはケーブルテレビ局との提携も視野に入れておりますので、皆様のお宅でも視聴ができる時代が括るかもしれません。

それでは、今後とも山梨大学の応援をよろしくお願いいたします。

文責：准教授・統括コーディネータ 還田隆



■ 技術シーズが紹介されています!!

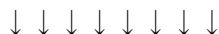
---

やまなし技術の宝石箱

<http://www.pref.yamanashi.jp/seichosng/techno-jewel-box/index.html>

山梨中央銀行 山梨大学発"ビジネスチャンス"直行便！

<http://www.yamanashibank.co.jp/hojin/service/shien/765.html>



この内容をご覧になって関心がある研究者が見つかりましたら、面談設定も可能ですので是非ご一報ください。



▼ 連絡先

国立大学法人山梨大学  
社会連携・研究支援機構  
社会連携・知財管理センター

TEL:055-220-8759

FAX:055-220-8757

[renkei-as@yamanashi.ac.jp](mailto:renkei-as@yamanashi.ac.jp)



- 1) このメールの内容は、提供された会員様限りでご使用下さい。
- 2) メールの内容については国立大学法人山梨大学が著作権を有します。

-----